

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、22～28 台を示し、平年並み～やや低めでした。

## 〔漁況概要〕

中小型まき網---シケの日が多く出漁日数が少なかった。西彼地区では、マイワシが1日1統当たり2.8トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジが1日1統当たり0.1トンの水揚げ（前年を下回った）。北松南部地区では、マイワシなどが1日1統当たり1.8トンの水揚げで、前週の78%（前年並み）。

イカ釣----スルメイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり1kgの水揚げで、前週の6%（前年を下回った）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり1.7kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり1.6kgの水揚げで、前週の1.3倍（前年を下回った）。

定置網----対馬西岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり1.19kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり4.27kgの水揚げ。

一本釣----北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり6.5kgの水揚げで、前週の1.4倍（前年を下回った）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（7/4～7/9の6日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、能登半島北西沖で操業。赤イカは北太平洋で操業。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～山陰沖～能登半島沖～佐渡沖～山形沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）は、1日延1隻、総計71箱、スルメイカ（20～40入・バラ）。

（漁業情報サービスセンターより）

## 〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>